

令和6年度 学校評価報告書(自己評価書・学校関係者評価書)

令和7年2月14日作成

中期目標	重点努力目標(評価項目)	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)
主体的・対話的で深い学びにより、確かな学力と健やかな体を育成する	学ぶ意欲の向上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事から湧き出た疑問をもとに授業展開を考えるように努めた。 意味調べやねらいをもった正確な音読、「意味が分かって読めること」を大切にする授業への転換が図られつつある。 問題解決的な学習の授業研究のために植田スタンダードを意識して授業案づくりを行った。 放課や家庭でも運動に取り組むことができるよう各種運動カードをつくり取り組んだ。 子どもたちは体育の授業だけでなく、放課に運動場に出て遊ぶことによって多様な動きを経験した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな考えを発表することができるのできる教室の空気がこの上なくよい。 落ち着いた学習の雰囲気、教師と子どもの心が通い合っている。 1年間を通して授業が本当に楽しそう。 子どもたちがよく挙手をしている。 1年間の道徳の板書記録を教室に掲示しているのがすばらしい。 のびのびとして、楽しそうな子どもの姿をみた。 	<ul style="list-style-type: none"> 内発的な学習意欲をかきたてる問題解決的な学習の授業改善に向けて、全ての学習の基礎となる国語科を中心にもう一段深い学びをみざす研究を行う。 ベテラン教師の授業をもとに若手教師が自らの授業改善に生かす取り組みを行う。 ★子どもたちの生涯学習の基盤となる学力が向上するような授業づくりをめざす。
	子どもの体力の向上	B					
互いの立場を理解し、温かい気持ちで関わり合える集団づくり	孤立する児童のいない温かな学級、集団づくり	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 「いなほトーク」をはじめ全教科で相手の顔を見て話す、聞くことを指導している。お互いの相違を認め合い尊重する大切さに気づかせることで、温かい人間関係づくりを努めている。 自主的に元気な挨拶ができる子、地域で挨拶ができる子がいる反面、個人差があるのが今後の課題である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 自分と違う答えになるのはどうしてだろうと問題を解決しようと一生懸命考えてくることがよく伝わってきた。 授業中の教師と子どものコミュニケーションがよくとられており、子どもの話が弾んでいるのびのびと楽しく過ごしていた。 個への支援に目を配っていた。 整頓された教室環境が子どもにより影響を与えている。 挨拶ができていと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教育活動を通じて、共感的理解のもと、より関わり合いを深める方法を学ぶ。 「自尊感情」や「自己肯定感」を育むための授業づくりや行事を計画する。 挨拶ができるよう習慣化させるとともに、挨拶のよさを実感させたい。 ★教師と児童の人間関係の構築を重視し、今後も一人一人の児童を大切にしてい
	自らあいさつができる子の育成	B					
家庭や地域との連携を密にし、安全安心で開かれた学校運営を推進する	地域ぐるみの教育システムの構築	A	A	<ul style="list-style-type: none"> クラブ講師や生活科・総合的な学習などで地域教育ボランティアと関わる授業を展開し、環境教育やキャリア教育他に生かした。 地震、火災、津波の避難訓練を実施した。 専門家を講師に招き、不審者対応訓練や心肺蘇生法についての現職研修を実施した。 付添一斉下校や南稜校区0の日の朝の交通立番を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 昔遊びの会で子どもに「先生」と呼んでももらい、その後心の交流ができて感激している。例年より幅を広げて地域のかたを昔遊びの会に誘ったところ、子どもとふれ合うことができよかったという声を複数もらった。 家庭と学校にすべてを任せるのではなくコミュニティ・スクールのような地域のかたで子どもに体験の場を提供するのが地域の大人の役目だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校にいる場合の避難の指導だけではなく、総合的な学習と絡めて登下校時の発災、地域での発災の際の行動について検討・指導を行う。 ★地域教育ボランティアの高齢化に伴い新しい人材や場所を発掘し、児童の学びの幅を広げる。また、地域のかたにも学校の様子を知っていただくよい機会とする。
	非常災害時や学校生活における判断力・行動力の育成	B					
教育公務員としての意識を高め、組織人として学校を支える	教員の授業力向上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童に内発的動機づけを抱かせる授業展開が大切だということを共通理解することができた。 行事や教材研究について、ベテラン教師が若手の相談にのることができた。ミドルリーダーがベテランの姿を見習い若手の相談にのる姿勢ができつつある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教員の行うことは行っていると思う。 授業参観をして指導法を工夫していると感じた。 いつも教員の努力に感謝している。 外部からではわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科に絞り、児童相互が関わり合うより深い学びをみざす授業を研究する。 ★授業や学校生活の取り組みをホームページや学校だよりなどで発信し、学習や業務改善への家庭の協力や地域の理解をより一層深める。
	教員の働き方改革にかかる業務改善	B					

【自己評価 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・D で評価】

【関係者評価 A：適切である B：概ね適切である C：あまり適切ではない D：適切とは言えない】